

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第4部門第1区分
【発行日】令和6年10月17日(2024.10.17)

【公開番号】特開2023-58769(P2023-58769A)
【公開日】令和5年4月26日(2023.4.26)
【年通号数】公開公報(特許)2023-078
【出願番号】特願2021-168467(P2021-168467)
【国際特許分類】

E 0 4 B 1/41(2006.01)

E 0 4 G 23/02(2006.01)

F 1 6 B 13/06(2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/41 5 0 3 F

E 0 4 G 23/02 D

F 1 6 B 13/06 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月8日(2024.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明に係るアンカーは、コンクリート構造物に被覆部材を取り付けるためのアンカーであって、アンカー挿入孔内に挿入する棒状のアンカー本体部と、アンカー本体部の先端側に設けられ、アンカー挿入孔の奥部に挿入した状態で拡張させることによりアンカー挿入孔の内壁面に押し当たって、アンカー本体部をアンカー挿入孔の奥部に定着させる定着部と、断面円形状であり、アンカー本体部の頭部に取り付けるナットとを備えている。そして、アンカー本体部は、少なくとも両端部の外周面に雄ネジ部を有するとともに、頭部の先端面に直径方向の溝部（所謂、すり割）を有する。また、ナットは、アンカー本体部の頭部を挿通するための挿通孔を備えるとともに、当該挿通孔の内面に雌ネジ部を設けてあり、上面に締め込み治具に係合させる係合部を有している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

図5に示す例では、ナット20の上面の円周方向に等間隔で3箇所に円柱状の磁石（一方の吸着部70a）を埋め込んである。そして、操作部51には、磁石（一方の吸着部70a）にそれぞれ対向して磁石が吸着する金属（他方の吸着部70b）を取り付けてある。なお、ナット20の上面に磁石が吸着する金属を取り付けて一方の吸着部70aとするとともに、操作部51に対して磁石を埋め込むことにより他方の吸着部70bとしてもよい。

10

20

30

40

50